



# 開催 20 年目となる冬の風物詩 今年も TOKYO TORCH Park にも拡大 「丸の内イルミネーション 2021」 開催

三菱地所株式会社

2021年09月29日

丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）では、2021年11月11日（木）～2022年2月20日（日）の期間中、冬の風物詩としてまちを彩るイベント「丸の内イルミネーション 2021」を開催します。

- 開催期間：2021年11月11日（木）～2022年2月20日（日）15:00～点灯開始（予定）
- 開催場所：丸の内仲通り ほか

「丸の内イルミネーション 2021」は、今年で20年目を迎える恒例イベントで、約1.2kmにおよぶメインストリート、丸の内仲通りを中心に、有楽町駅前の東京交通会館から大手町仲通りまで丸の内エリア内340本を超える街路樹が、シャンパンゴールド色のLED約120万球で彩られます。また今年7月にグランドオープンし、東京駅日本橋口前の新ランドマークとなった常盤橋タワー前の大規模屋外広場「TOKYO TORCH Park」においても同時に点灯。商業ゾーン「TOKYO TORCH Terrace」をはじめとして丸の内エリアにはテラス席を有する店舗も多く、ソーシャルディスタンスを保った屋外環境でゆっくりとイルミネーションをお楽しみいただけます。

本イベントでは、従来品と比べ使用電力を削減する環境に配慮したイルミネーション\*を使用しており、従来の明るさや輝きは変わらずに、使用電力を抑えます。また期間中、丸の内仲通りで使用するすべてのエネルギーには、太陽光や風力などの自然エネルギーで発電されたグリーン電力を使用します。

なお、新型コロナウイルス対策として、例年は17時～23時（12月は24時）までだったイルミネーションの点灯時間を、昨年同様に2時間早め、本年も15時から点灯します。お楽しみいただける時間を長くすることで、鑑賞いただく時間を分散させ、屋外でも密を避けながらゆったりと安心してお過ごしいただけます。



## ▲昨年開催時の様子

\* 従来品と比べ 1 球当たりの使用電力を 65%削減する「エコイルミネーション」により、エネルギー使用量を削減し高効率化を実現してきましたが、2014 年度より 1 球あたりの使用電力をさらに 30%カットする「NEW エコイルミネーション」を一部に採用しています。

## 「丸の内イルミネーション 2021」概要

主 催：丸の内イルミネーション実行委員会（以下の団体で組成）  
東京都、千代田区、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、  
NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会  
協賛・協力：ザ・ペニンシュラ東京、中央日本土地建物株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、  
株式会社東京交通会館、日本生命保険相互会社、日本郵船株式会社、株式会社丸ノ内ホテル、  
三菱商事株式会社、明治安田生命保険相互会社（予定） ※50 音順  
特別協力：三菱地所株式会社  
企画制作：三菱地所プロパティマネジメント株式会社  
実施期間：2021 年 11 月 11 日（木）～2022 年 2 月 20 日（日） 102 日間（予定）  
点灯時間：15:00～23:00 \*12 月 1 日（水）～12 月 31 日（金）は 15:00～24:00（予定）  
場 所：丸の内仲通り ほか  
電 球 数：約 120 万球 シャンパンゴールド色（LED）

※新型コロナウイルスの感染拡大状況ならびに行政指導等を考慮し、点灯時間を含む実施内容を変更する可能性があります。

## 【「丸の内イルミネーション 2021」開催マップ】 ※一部調整中につき、内容が変更となる場合がございます。



○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



三菱地所は、2020 年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ※」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース：[https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124\\_marunouchinext.pdf](https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf)